

健常者を対象とした頸部屈曲位について

	通常頸位との比較		
	頭部屈曲位	頸部屈曲位	複合屈曲位
軟口蓋部の最大内圧	N.S	N.S	N.S
中下咽頭部の最大内圧	N.S	N.S	N.S
UES部の最大内圧	N.S	↓	↓
UES部の 平圧化持続時間	↓	↑	N.S

✓ UES部の開大は嚥下時の喉頭挙上に依存している。Cerenko D

✓ 若年健常者では、3種類のChin-Downの中で、頸部屈曲位が最も咽頭期嚥下に有利な姿勢である。

頸部屈曲位で舌骨下筋群の緊張が緩まったことにより、咽頭期嚥下時の喉頭挙上が促進され、UES部の平圧化持続時間が延長した。